

2024年度

科目名	TOEIC L		授業形態	演習		
担当教員	京極 理恵		履修年次	1 年		
担当学科	外語共通		G、クラスまたは専攻		共通科目	
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1		
実務経験	教員免許を持ち、高校・塾・予備校・大学の非常勤講師、また英会話学校でのティーチングの経験も有する					
テキスト	START-UP COURSE FOR THE TOEIC L&R TEST / TOEIC L&R TEST 出る単特急金のフレーズ					
講義の概要	①スピード、ボリューム、ボキャブラリー等 TOEICテストに対応出来る力を付ける。 ②音の変化のルールを理解し、聞き取りにくい部分も内容を推測できるようにする。 ③TOEICの得点アップを目指すと共に、幅広い実践英語の運用力を身に付けていく。					
講義の展開計画						
第 1 回	Introduction “Warming-up for TOEIC” (集中力度Quiz (Part II) と音慣れ度Quiz)		第 1 回	“Warming-up for TOEIC” (Part III より)		
第 2 回	Vocabulary Review Test : Part II		第 2 回	Vocabulary Review : Part III		
第 3 回	Vocabulary Part III (選択肢との向き合い方)		第 3 回	Vocabulary Part IV		
第 4 回	Vocabulary Part III		第 4 回	Vocabulary Part IV		
第 5 回	Vocabulary Part IV (選択肢との向き合い方)		第 5 回	Vocabulary Part I&II		
第 6 回	Vocabulary Part IV		第 6 回	《実践問題 別教材より》		
第 7 回	《実践問題 別教材より》		第 7 回	《模擬テスト》IPテストに向けて		
第 8 回	《実践問題 別教材より》		第 8 回	《模擬テスト》解説		
第 9 回	《模擬テスト》IPテストに向けて		第 9 回	《 TOEIC IP Test 》		
第10回	《模擬テスト》解説		第10回	《模擬テスト》解説		
第11回	《 TOEIC IP Test 》		第11回	Vocabulary Part III 強化訓練		
第12回	Vocabulary Part II-IV 足りないところの強化		第12回	Vocabulary Part IV 強化訓練		
第13回	The Final		第13回	The Final		
履修上の注意	「金のフレーズ」の指定された箇所は毎回しっかり見て授業に臨むこと。 授業で扱う量は限りがあります。就職の際にもTOEICで英語力を見る企業も増えてきています。しっかり自主学習に取り組んで自ら点数を上げていく意識を忘れずに。小テストで点数が悪い場合は課題があります。					
試験成績の評価基準	期末テスト 80% 平常点 (小テスト、授業態度等) 20%					

2024年度

科目名	TOEIC 対策		授業形態	演習		
担当教員	近江 貞子		履修年次	1 年		
担当学科	外語共通		G、クラスまたは専攻			
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1		
実務経験						
テキスト	公式 TOEIC L & R Part 7 TOEIC レベル別問題集(東進ブックス) 470, 600, 730					
講義の概要	TOEICのReading の中で特に Part 7を得点源にするために、様々な速読のポイントを学修しながら実践練習につなげていきます。長文は読み慣れないと時間がかかりますが、長文が苦痛でなくなる方法を学んでいきましょう。					
講義の展開計画						
第 1 回	Orientation: 基本文法(品詞と文型)の確認		第 1 回	Orientation, 実践テスト①		
第 2 回	Chapter 1:速読のための基礎トレーニング 厳選フレーズ200 ①		第 2 回	実践テスト②		
第 3 回	Chapter 2: Unit 1 広告・案内 厳選フレーズ200 ②		第 3 回	実践テスト③		
第 4 回	Chapter 2: Unit 2 お知らせ 厳選フレーズ200 ③		第 4 回	実践テスト④		
第 5 回	Chapter 2: Unit 3 Eメール・手紙(個人宛) 厳選フレーズ200 ④		第 5 回	実践テスト⑤		
第 6 回	Chapter 2: Unit 4 Eメール(グループ宛) 厳選フレーズ200 ⑤		第 6 回	実践テスト⑥		
第 7 回	Chapter 2: Unit 5 連絡メモ 厳選フレーズ200 ⑥		第 7 回	実践テスト⑦		
第 8 回	Chapter 2: Unit 6 オンラインチャット 厳選フレーズ200 ⑦		第 8 回	実践テスト⑧		
第 9 回	Chapter 2: Unit 7 記事 厳選フレーズ200 ⑧		第 9 回	実践テスト⑨		
第10回	Chapter 2: Unit 8 2文書の問題 厳選フレーズ200 ⑨		第10回	実践テスト⑩		
第11回	Chapter 2: Unit 9 3文書の問題 厳選フレーズ200 ⑩		第11回	実践テスト⑪		
第12回	実践問題 ; Review all, Q & A		第12回	Review all, Q & A		
第13回	期末試験・解説		第13回	期末試験・解説		
履修上の注意	上記は進捗状況に合わせて変更もあり得ます。皆さんの状況を見ながら適宜実践問題形式のMini Testを実施します。Textはやりっぱなしではなく必ず何回も復習してください。質問があればいつでも質問し、分からないままにしておかないようにお願いします。					
試験成績の評価基準	筆記試験 80%、平常点(宿題・授業への貢献・課題提出等) 20%					

2024年度

科目名	使える英文法	授業形態	演習
担当教員	佐久間 洋子	履修年次	1 年
担当学科	外語共通	G、クラスまたは専攻	
履修学期	通年	単位数	前期 2 後期 2
コマ数/週	前期 1 後期	1	
実務経験			
テキスト	Breakthrough Upgrade ブレイクスルー総合英語改訂二版		
講義の概要	英文法の基礎を固め、英語の発信に自信を持てるようにする。		
講義の展開計画			
第 1 回	イントロダクション・品詞の種類と使い道	第 1 回	不定詞①(名詞/形容詞/副詞用法)
第 2 回	五文型①第 1 ～第 3 文型	第 2 回	不定詞②(文中での使われ方)
第 3 回	五文型②第 4 ～第 5 文型	第 3 回	不定詞③(原形不定詞/知覚動詞/使役動詞)
第 4 回	動詞の形と使い道(原形/～ing/-ed)	第 4 回	動名詞①(不定詞との差異と共通点)
第 5 回	時制①現在(進行)形/過去(進行)形	第 5 回	動名詞②(文中での働き)
第 6 回	時制②未来(進行)形 現在完了形イントロ	第 6 回	分詞①(現在分詞/過去分詞の意味)
第 7 回	時制③現在完了(進行)形	第 7 回	分詞②(上記使用法)
第 8 回	時制④過去完了形	第 8 回	分詞③(分詞構文) 演習
第 9 回	時制⑤問題演習と英作文	第 9 回	関係詞(種類と用法)
第10回	時制の復習または助動詞ポイント	第10回	文の分け方と接続の仕方①
第11回	英作文を基にした口頭発表	第11回	文の分け方と接続の仕方②
第12回	前期末試験準備(口頭試験含む)	第12回	期末試験前ミニテスト/試験準備
第13回	前期末試験	第13回	学年末試験
履修上の注意	英文法の授業は受け身に成りがちなので、口頭練習を積極的に行う		
試験成績の評価基準	期末試験(筆記) 8 割 口頭試験 2 割		

講義概要 (Syllabus)

2024年度

科目名	ビジネスマナー		授業形態	演習		
担当教員	細川 久美子		履修年次	1 年		
担当学科	外語共通		G、クラスまたは専攻			
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	
コマ数／週	前期	1	後期			
実務経験	化粧品メーカーの営業社員 情報通信会社の料金センターの事務 社労士事務所の総務部門、職業紹介会社の取締役 等					
テキスト	◆秘書検定合格教本2・3級 ◆秘書検定2級実問題集2024年版					
講義の概要	◆11月に秘書技能検定2級を取得することを目標とする ◆秘書技能検定対策の学習を通して、ビジネスマナーと実務の基礎を身に付ける					
講義の展開計画						
第1回	秘書の資質、職務知識		第1回			
第2回	一般知識①（企業と経営組織、人事・労務）		第2回			
第3回	一般知識②（マーケティング・会計・財務）		第3回			
第4回	一般知識③（金融と経営法務）		第4回			
第5回	マナー接遇①（人間関係と言葉遣い 話し方・聞き方、接遇）		第5回			
第6回	マナー接遇②（受付・取次、来客対応）		第6回			
第7回	マナー接遇③（電話応対）		第7回			
第8回	マナー接遇④（慶弔業務、贈答）		第8回			
第9回	技能①（会議・ビジネス文書①）		第9回			
第10回	技能②（ビジネス文書②）		第10回			
第11回	技能④（郵便の受発信業務、秘文書の取扱い）		第11回			
第12回	技能⑤（ファイリング、名刺整理、資料整理、オフィス環境の整備）		第12回			
第13回	筆記試験		第13回			
履修上の注意	授業を欠席する場合は、科目担当講師に理由も含めて連絡をしてください。（担任とは別に） 連絡がなかった場合は、公欠か否かは関係なく平常点から減点します。					
試験成績の評価基準	【評価方法】 筆記試験80%平常点20%（平常点は課題提出状況と出席状況による）					

2024年度

科目名	韓国語 I			授業形態	演習		
担当教員	李 美賢			履修年次	1 年		
担当学科	外語共通			G、クラスまたは専攻		第二外国語	
履修学期	通年		単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1			
実務経験	1. 仙台白百合女子大学（韓国語初級、韓国語演習） 2. 仙台青葉学院短期大学（ビジネスキャリア学科、観光ビジネス学科 - 韓国語会話 I, II） 3. 仙台韓国教育院（民団宮城文化センター韓国語聴解、実用会話講座）						
テキスト	キムチ1						
講義の概要	韓国語の文字であるハングルの読み方、書き方ができる。基礎的な韓国語の能力（文法、発音）を身につけ、簡単な日常会話ができる。						
講義の展開計画							
前期				後期			
第 1 回	第1課一文字と発音 1			第 1 回	第6課～に、あります・ありません、位置名詞		
第 2 回	文字と発音 1（読む練習）			第 2 回	実践一復習（会話練習）		
第 3 回	第2課一文字と発音 2			第 3 回	第7課해요体①～を、疑問詞		
第 4 回	文字と発音 2（読む練習）			第 4 回	実践一復習（会話練習）		
第 5 回	第3課一文字と発音3			第 5 回	第8課해요体②～で、～したいです		
第 6 回	文字と発音 3（読む練習）			第 6 回	実践一復習（会話練習）		
第 7 回	文字と発音一総まとめ			第 7 回	第9課해요体③固有名詞、～から～まで		
第 8 回	文字と発音一復習（問題解きや練習など）			第 8 回	実践一復習（会話練習）		
第 9 回	実践（文字と発音）			第 9 回	第10課～してください、～に、～しません		
第10回	第4課～は、～です・～ですか？こそあど言葉			第10回	実践一復習（会話練習）		
第11回	実践一復習（会話練習）			第11回	第11課～しました、～が好きですなど		
第12回	第5課～が、漢数詞、～ではありません			第12回	第12課합니다体（名詞、用言、尊敬語）		
第13回	前期期末試験			第13回	後期期末試験		
履修上の注意	教科書持参必修、毎回の学習内容について復習しておくこと。積極的に授業に参加し発言することが望ましい。						
試験成績の評価基準	期末試験80点、平常点（授業の態度、課題提出、出席の状況）20点-合計点を100とする。						

2024年度

科目名	中国語		授業形態	演習			
担当教員	楊 旭		履修年次	1年			
担当学科	外語共通		G、クラスまたは専攻				
履修学期	通年		単位数	前期	2	後期	2
コマ数／週	前期	1	後期	1			
実務経験	国際中国語教師資格持ち、長年にわたり多くの会話教室、カルチャーセンター、企業に中国語を教え経験あり						
テキスト	ニーハオ！ニッポン						
講義の概要	基本的な中国語文法の習得に特に重点を置き、例文までも含めて4級中国語検定の試験とHSK3級範囲に準拠しています。						
講義の展開計画							
第1回	発音(一)			第1回	過去内容のリスニング練習		
第2回	発音(二)			第2回	各種補語復習		
第3回	形容詞述語文、副詞、量詞の使い方			第3回	存在文、“有的”使い方		
第4回	“有”構文、名詞述語文、時間言い方			第4回	主述述語文比較文、觉得, 喜欢, 怎么の使い方		
第5回	“在”構文、介詞“在、給”方位詞			第5回	HSKリスニング練習、解説		
第6回	連動文、介詞“从”など、助動詞など			第6回	二重目的語、副詞“就、才、只、最		
第7回	過去形“了”副詞“又、再、还、刚”			第7回	助動詞“得、应该、必须”、受身文、		
第8回	経験を表す“过”、程度補語、動詞重ね型			第8回	使役文、“就要…了”“除了…还”“听说”		
第9回	動作の進行と持続、“是…的”構文			第9回	総合復習		
第10回	能願動詞“能、可以、会”			第10回	HSK過去問練習、解説		
第11回	介詞“跟、和、对、向”			第11回	“把”“让”構文、練習		
第12回	模擬テスト、解説			第12回	後期内容復習		
第13回	前期試験と解説			第13回	後期期末試験と解説		
履修上の注意	教科書にカタカナで発音を表示しないこと リスニングCDを常に聞くこと。						
試験成績の評価基準	筆記試験80点 出席率と随時テスト20点						

2024年度

科目名	基礎ゼミナール			授業形態	演習		
担当教員				履修年次	1 年		
担当学科				G、クラスまたは専攻			
履修学期	通年		単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1			
実務経験							
テキスト	・キャリアプランからはじめる就職活動 実践！ワークブック						
講義の概要	・進路(就職・進学・留学)決定に向けて、自身についての理解を深める。 ・社会の動きや就職活動の現状を把握する力を身に付け、スムーズに就職活動を始められるよう、基本となる知識と実践力を養う。 【前期テーマ】自分を知る 【後期テーマ】就職活動準備						
講義の展開計画							
第1回	オリエンテーション キャリアプランとは？			第1回	自己PRを書いてみる①		
第2回	『働く』とは？ 人生のマネープランを立てよう			第2回	自己PRを書いてみる②		
第3回	専門学校での2年間でどう過ごすか？就職活動の流れ			第3回	学生時代に頑張ったことを書いてみる①		
第4回	自分を知る①(今までを振り返る)			第4回	学生時代に頑張ったことを書いてみる②		
第5回	自分を知る②(今までを振り返る)			第5回	履歴書の書き方①		
第6回	自分を知る③(長所)文章化			第6回	履歴書の書き方②		
第7回	自分を知る④(長所)グループワーク			第7回	身だしなみ講座 ※スーツ着用		
第8回	自分を知る⑤(長所)まとめ			第8回	就職ガイダンス		
第9回	自分を知る⑥(短所)文章化			第9回	メールのマナー		
第10回	自分を知る⑦(短所)グループワーク			第10回	電話のマナー(ロープレ)		
第11回	自分を知る⑧(短所)まとめ			第11回	面接・就職の流れ		
第12回	履歴書を書く(左部分)			第12回	履歴書の作成		
第13回	前期末試験			第13回	後期末試験		
履修上の注意	・授業内で、言葉遣いや敬語が身に付くよう意識づけを促す。						
試験成績の評価基準	【通年】平常点20点 【前期】履歴書40点+作文(長所)40点 【後期】履歴書完成80点+平常点20点						

講義概要 (Syllabus)

2024年度

科目名	English Interview			授業形態	演習			
担当教員	Jacob P.			履修年次	1 年			
担当学科	外語共通			G、クラスまたは専攻		選択科目/上級英語		
履修学期	後期		単位数	前期	—		後期	2
コマ数／週	前期	—	後期	1				
実務経験								
テキスト	No Text							
講義の概要	The goal of this course is for students to prepare for a job interview conducted in English. The course covers basic questions that one will be asked in a typical job interview in an English speaking country. The students will also learn how to best answer these questions and how to prepare for them before the interview.							
講義の展開計画								
第 1 回				第 1 回	Introduction to the course, and basic vocabulary			
第 2 回				第 2 回	Interview Etiquette: What to do and what NOT to do.			
第 3 回				第 3 回	An introduction to basic interview questions and Rachels English videos on YouTube. Question 1: "Tell me about yourself."			
第 4 回				第 4 回	Basic Questions: "Why do you want to work here? How did you hear about this job? What is your greatest strength?"			
第 5 回				第 5 回	Basic Questions: "A Setback and how you handled it. What is your greatest weakness?"			
第 6 回				第 6 回	Basic Questions: "Where do you see yourself in X years? Do you have any questions for me?"			
第 7 回				第 7 回	Basic Questions: "Where do you see yourself in X years?"			
第 8 回				第 8 回	Job Hunting – searching for and understanding help-wanted ads online			
第 9 回				第 9 回	How to make a resume, n class writing assignment.			
第10回				第10回	Asking and answering questions about resumes in an interview.			
第11回				第11回	Review and practice for Oral and Written Test			
第12回				第12回	Oral Test – The Interview			
第13回				第13回	Written Exam			
履修上の注意	In order to pass the class students need to attend no less than 10 out of 13 classes (80%) and achieve a total score of 60% or higher							
試験成績の評価基準	The class score will be broken down as follows: Class mark / behavior – 20% Oral examination – 40% Written examination – 40%							

講義概要 (Syllabus)

2024年度

科目名	観光ガイド I			授業形態	演習		
担当教員	Jacob P.			履修年次	1 年		
担当学科	外語共通			G、クラスまたは専攻		選択科目/観光	
履修学期	後期		単位数	前期	—	後期	2
コマ数/週	前期	—	後期	1			
実務経験							
テキスト	Tour Guide 1 – Oxford English For Careers						
講義の概要	The Tour Guide English class is an overview of the travel industry and the language one needs to communicate with customers. In addition to in-class learning, it gives students a chance to apply their knowledge in a practical sense through different projects.						
講義の展開計画							
第 1 回				第 1 回	What is tourism? Unit 1, pg 4-11		
第 2 回				第 2 回	World destinations Unit 2, pg 12-19		
第 3 回				第 3 回	Tour Operators Unit 3, pg 20-27		
第 4 回				第 4 回	Tourist Motivations Unit 4, pg 28-35		
第 5 回				第 5 回	Travel Agencies Unit 5, pg 36-43		
第 6 回				第 6 回	Transport in Tourism Unit 6, pg 44-59		
第 7 回				第 7 回	Accommodation Unit 7, pg 60-67		
第 8 回				第 8 回	Marketing and promotion Unit 8, pg 68-75		
第 9 回				第 9 回	The Airline Industry Unit 9, pg 76-83		
第10回				第10回	Holidays w/a difference Unit 10, pg 84-91		
第11回				第11回	Airport departures Unit 12, pg 100-107		
第12回				第12回	Review for Examination		
第13回				第13回	Final Examination		
履修上の注意	In order to pass the class students need to attend no less than 10 out of 13 classes (80%) and achieve a total score of 60% or higher						
試験成績の評価基準	The class score will be broken down as follows: Class mark / behavior – 20% Projects (2x) – 20% each for a total of 40% Examination – 40%						

2024年度

科目名	ECIV		授業形態	演習		
担当教員	George M.		履修年次	1年		
担当学科	英語科		G、クラスまたは専攻			
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	2
コマ数／週	前期	1	後期	1		
実務経験						
テキスト	Reading Advantage Book 3 (Cengage)					
講義の概要	Students will acquire reading skills by studying various current topics. There will be an emphasis on target vocabulary and idioms.					
講義の展開計画						
第1回	Introduction activities. Class rules.		第1回	Unit Nine: Cosmetic Surgery		
第2回	Unit One: Spiders		第2回	Unit Ten: Natural Wonders		
第3回	Unit Two: The Sphinx		第3回	Mini Test One		
第4回	Unit Three: Blogging + Mini Test One		第4回	Review Units 6-10		
第5回	Unit Four: Blockbuster Movies		第5回	Unit Eleven: Delivering the Mail		
第6回	Unit Five: The Tour de France		第6回	Unit Twelve: Motivating Students		
第7回	Review of Units 1-5 + Mini Test Two		第7回	Mini Test Two		
第8回	Unit Six: Left Handedness		第8回	Unit Thirteen: Mystery Mansion		
第9回	Unit Seven: Music and Dance + Mini Test Three		第9回	Unit Fourteen: International Baseball		
第10回	Unit Eight: Body Language		第10回	Mini Test Three		
第11回	Vocabulary and Idiom Review		第11回	Unit Fifteen: Strange Foods		
第12回	Mini Test Four + Exam Review		第12回	Review Units 11-15 ; Mini Test Four		
第13回	Final Exam		第13回	Final Exam		
履修上の注意	Students are expected to attend at least 75% of classes and score a total of at least 60% to receive credit for this class.					
試験成績の評価基準	Written Exam: 40%. Four mini tests 40% Class Participation Score: 20%					

2024年度

科目名	社会情勢			授業形態	演習		
担当教員	菅原 克彦			履修年次	1 年		
担当学科	英語科			G、クラスまたは専攻		専門科目	
履修学期	前期		単位数	前期	2	後期	—
コマ数／週	前期	1	後期	—			
実務経験	アナウンサー・記者・ディレクター（放送局・フリー）、日本語教師						
テキスト	「図解まるわかり時事用語 2024⇒2025年度」（新皇出版社）						
講義の概要	日々状況が変化する日本、世界の最新情報や、その理解に必要な基礎知識をニュース記事などを題材に積み上げ、「今」を考える力を養う。合わせて各事象の私見形成のためのポイントを考え、提示し、今後の就職活動や資格試験等の時事問題対策の基礎とする。 また各回、一週間の出来事に関する意見発表の場を設け、学生間であらゆる考え方に触れてゆく。						
講義の展開計画							
第 1 回	旧年度末⇒新年度初頭の社会情勢（ウクライナ・中東情勢、外為、ロシア大統領選など）			第 1 回			
第 2 回	中東情勢①（現況、2023年10月からの推移、地勢的状况、歴史的変遷の確認など）			第 2 回			
第 3 回	中東情勢②（現況、世界・日本への影響、日本がすべきこと、キーワードの確認など）			第 3 回			
第 4 回	外国為替（現況、メカニズム、変化する原因、国内外への影響など）			第 4 回			
第 5 回	来日外国人（様々な在留資格、インバウンド増加へ向けての展望、問題点など）			第 5 回			
第 6 回	G7①（概要、2024年イタリアG7の概要、G7の役割と求められるもの）			第 6 回			
第 7 回	G7②（2023年イタリアG7の声明文と詳細、G20や他の枠組みの必要性など）			第 7 回			
第 8 回	人口問題（現況、日本の2023年合計特殊出生率、推移の理由、異次元の少子化対策など）			第 8 回			
第 9 回	世界のエネルギー事情（各国の発電事情とその理由、原発の現況、ベースロード電源など）			第 9 回			
第10回	SDGs（実施目的と制定過程、日本の実施状況と評価、私たちがすべきことなど）			第10回			
第11回	五輪考察①（パリ五輪概要、五輪の開催意義と各国のこれまでの開催後など）			第11回			
第12回	五輪考察②（これからの五輪、招致活動のあり方、五輪に求められるものなど）			第12回			
第13回	前期試験・解説			第13回			
履修上の注意	上記の内容を扱いながら、重要な出来事が生じた場合はその解説や討議・意見交換などを適宜交える。よって、状況により講義順や項目の変更の可能性もあり。また、より理解を深めるために、日頃からニュースや時事問題を確認しておくことが望ましい。						
試験成績の評価基準	授業態度などの平常点も加味し、筆記試験と平常点の合計を評価基準とする。（筆記試験80%、平常点20%）						

講義概要 (Syllabus)

2024年度

科目名	Media Literacy		授業形態	演習		
担当教員	Jacob P.		履修年次	1年		
担当学科	英語科		G、クラスまたは専攻			
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	2
コマ数／週	前期	1	後期	1		
実務経験	Auditioned for and won the opportunity to be a Radio DJ English interviews.					
テキスト	Fish in Water					
講義の概要	A more in-depth look at media – television, news, books, the Internet, advertising, movies – and how it shapes our world views.					
講義の展開計画						
第1回	Unit 1: Chapter 1 – Fish in Water		第1回	Unit 4: Chapter 9 – Their Media		
第2回	Unit 1: Chapter 1 – Learning to see the media		第2回	Unit 4: Chapter 10 – Gender in the Media		
第3回	Unit 1: Chapter 2 – Whose media?		第3回	Unit 4: Chapter 11 – Minorities in the Media		
第4回	Unit 1: Chapter 2 – Media around the world		第4回	Unit 4: Chapter 12 – Violence in the Media		
第5回	Unit 2: Chapter 3 – The Parallel Universe		第5回	Unit 4: Chapter 13 – Stereotypes in the Media		
第6回	Unit 2: Chapter 3 – Losing our minds to illusion		第6回	Unit 4: Chapter 14 – Where are our Role Models?		
第7回	Unit 2: Chapter 4 – Visual Stories		第7回	Unit 5: Chapter 15 – Television		
第8回	Unit 3: Chapter 5 – The Bottom Line		第8回	Unit 5: Chapter 16 – Manga		
第9回	Unit 3: Chapter 6 – Tricks of the Advertising Trade		第9回	Unit 5: Chapter 17 – The New Media		
第10回	Unit 3: Chapter 7 – Gathering News		第10回	Unit 5: Chapter 18 – The Internet		
第11回	Unit 3: Chapter 8 – News and the News Makers		第11回	Unit 5: Chapter 18 – The Internet		
第12回	Review and mid-term exam preparation		第12回	Review and final exam preparation		
第13回	Mid-term Examination		第13回	Final Examination		
履修上の注意	In order to pass the class students need to attend no less than 10 out of 13 classes (80%) and achieve a total score of 60% or higher					
試験成績の評価基準	The class score will be broken down as follows: Class mark / behavior – 20% Media projects (x2) – 20% each, 40% total Examination – 40%					

2024年度

科目名	発音クリニック		授業形態	演習			
担当教員	Jacob P.		履修年次	1年			
担当学科	英語科		G、クラスまたは専攻				
履修学期	通年		単位数	前期	2	後期	2
コマ数／週	前期	1	後期	1			
実務経験							
テキスト	Clear Speech 4th edition						
講義の概要	An in-depth look at pronunciation and intonation styles. Taking what students know and being able to apply that in a natural sounding way.						
講義の展開計画							
第1回	Unit 1 – Syllables, 2–9		第1回	Unit 10 – Continuants and stops: /s/ and /t/, 76–79			
第2回	Unit 2 – Vowels and vowel rules, 10–17		第2回	Unit 10 – Continuants and stops: /s/ and /t/, 80–83			
第3回	Unit 3 – Word stress and vowel length, 18–24		第3回	Unit 11 – Continuants and stops: /r/ and /d/, 84–90			
第4回	Unit 4 – Word stress and vowel clarity, 25–33		第4回	Unit 11 – Continuants and stops: /l/ and /d/, 91–96			
第5回	Unit 5 – Word stress patterns, 34–43		第5回	Unit 12 – Voicing, 97–102			
第6回	Unit 6 – Sentence focus: Emphasizing content words, 44–49		第6回	Unit 12 – Voicing, 103–108			
第7回	Speaking practice with recording comparisons		第7回	Unit 13 – Voicing and syllable length aspiration, 109–114			
第8回	Unit 7 – Sentence focus: De-emphasizing structure words, 50–58		第8回	Unit 13 – Voicing and syllable length aspiration, 115–120			
第9回	Unit 8 – Choosing the focus word, 59–68		第9回	Unit 14 – Sibilants, 121–130			
第10回	Unit 9 – Emphasizing structure words, 69–75		第10回	Unit 15 – Thought groups, 131–140			
第11回	Review and mid-term exam preparation		第11回	Review and final exam preparation			
第12回	Oral Examination		第12回	Oral Examination			
第13回	Mid-term Examination		第13回	Final Examination			
履修上の注意	In order to pass the class students need to attend no less than 10 out of 13 classes (80%) and achieve a total score of 60% or higher						
試験成績の評価基準	The class score will be broken down as follows: Class mark / behavior – 20% Oral examination – 40% Written examination – 40%						